

2026年10月5日

各 位

株式会社 紀陽銀行

「紀陽DXプラットフォーム（愛称：Key X）」の提供開始について ～情報収集から課題整理、相談・支援までをワンストップで提供～

株式会社紀陽銀行（頭取：原口 裕之）は、株式会社NTT DXパートナー（代表取締役社長：阿部 隆）と連携し、地域企業のDX推進を包括的に支援する「紀陽DXプラットフォーム（愛称：Key X）」、（以下、本プラットフォーム）」の提供を開始しますので、下記のとおりお知らせいたします。

本プラットフォームは、DXに関する情報・記事、イベント、DX診断、支援サービス、専門家への個別相談等を通じて、地域企業の情報収集から課題整理、具体的な支援への橋渡しまでをワンストップで行うサービスです。

紀陽銀行は、今後もDXに関する情報発信や地域企業間の交流機会の創出、実践的な学びの提供などを通じて、地域企業のDXを推進してまいります。

記

1. プラットフォーム概要

名 称	紀陽DXプラットフォーム （愛称：Key X（キーエックス）） 
愛称に込めた思い	「Key X」には、「経営の未来をひらく鍵を、ここで見つける。」というコンセプトを込めております。 Key：経営課題を解決する“鍵”となり、未来への扉を開く X：Transformation（変革）—DXによる進化と、未知の価値創造への期待
目 的	DXに取り組む地域企業が、必要な情報を収集し、自社の課題を整理するとともに、相談・支援へ円滑につなげることを目的としたプラットフォーム
提 供 開 始 日	2026年10月5日（月）
対 象	中小企業や個人事業主のお客さま
運 営	株式会社紀陽銀行
利 用 料	会員登録およびKey X上のコンテンツ・機能は無料 ※紹介する支援サービス等の利用には別途費用がかかる場合があります。
U R L	https://kiyo-dx.dxstar.jp/
特 徴	①情報発信 DXや経営改善に関するノウハウ、地域企業の取組事例、支援制度およびイベント情報等を発信いたします。 ②交流・学びの機会提供 イベントやオンラインコミュニティを通じて、企業間および専門家との交流機会を提供いたします。 ③課題整理・支援への橋渡し DX診断や個別相談を通じて課題を整理し、必要に応じて当行または連携先が提供する支援サービスへおつなぎいたします。

※詳細は別添チラシをご参照ください。

2. 今後の取り組み

今後も、地域企業のDX推進に資する情報発信やイベント開催を継続し、各企業の課題やニーズに応じた支援につなげてまいります。

また、2027年1月にはKey Xのキックオフイベントを予定しており、取組事例の紹介等を通じて、参加企業のDX推進を後押ししてまいります。

3. 連携企業概要

会 社 名	株式会社NTT DXパートナー
本 社 所 在 地	東京都新宿区西新宿3-19-2 NTT東日本本社ビル9F
代 表 者	阿部 隆
対 象	・NTT東日本グループがこれまで通信分野で培ってきた技術・ノウハウに加え、さまざまな企業との連携により、地域の企業や自治体の持つ可能性や魅力を最大限まで引き出し自走するための支援を「DX」という切り口からおこなうパートナー企業 ・コミュニティ戦略を活用して中小企業のDXを推進するDX支援サービス「DXSTAR（ディーエックススター） for Bank」を提供
U R L	https://www.nttdxpn.co.jp/

以 上

本取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール8「働きがいも経済成長も」、ゴール9「産業と技術革新の基盤をつくろう」、ゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」につながる取り組みです。



会員募集中・登録無料



業種・規模を問わず、地域企業の皆さまにご利用いただけます



Key X（紀陽DXプラットフォーム）とは

「人手が足りないから、手作業を自動化したい」「紙とExcelの二重管理が辛いから、業務の流れを見直したい」——「紀陽DXプラットフォーム（愛称：Key X）は、経営や業務の悩みに向き合う地域企業の皆さまを応援するサイトです。課題の整理から解決まで、地域の支援機関や専門家が一体となって皆さまを支えます。

こんなことをお手伝いします

詳しい使い方は裏面へ→

01



情報収集

専門家が地域企業のために厳選した情報に効率的にアクセスできる

02



仲間づくり

様々なテーマのイベントで各社の実践知を持ち寄れる

03



相談・支援

課題の特定から信頼できる相談先の紹介までワンストップで

Key Xでできること

情報・記事

経営改善のヒント・地域企業の事例

イベント

テーマ別イベントにサイトから申込

支援サービス

課題に合った施策を紹介

DX診断

現状と次の一手を整理

オンラインコミュニティ

経営やDXの学びと交流の場

個別相談（1on1）

専門家にいつでも相談

Key X会員登録ページはこちら

<https://kiyo-dx.dxstar.jp/>



スマートフォンでもPCからでもアクセスできる



会社名やお名前などの入力でOK



こんなこと、ありませんか？

- ✓ 経営を良くしたいが、何から手をつければよいか分からない。
- ✓ 社内にIT担当がおらず、相談できる相手がいない。
- ✓ 同じ規模・同じ業種の企業が、どのようにDXを進めたのか知りたい。

5つの機能を、いつでもどこでも

会員登録で、すべてを無料で利用できます



👉 イチオシポイント

情報・記事 定期更新

人手不足の解消や業務効率化に役立つ、DXの事例やノウハウを掲載。地域企業の取材記事も読めます。

イベント 定期開催

経営改善やデジタル活用をテーマに定期開催。参加企業同士の交流も。

DX診断 30問の診断

選択肢に答えていくだけで自社の到達度をその場で表示。次の一手が分かります。

支援サービス 専門家につながる

課題別に、解決に向けたアプローチを紹介するページ。問い合わせると担当者がお話を伺い、必要な情報や専門家におつなぎします。

オンラインコミュニティ 一部会員限定

会員登録を行うことで、公開限定チャンネルへの参加や投稿が可能に。閲覧のほか、他のユーザーや専門家への質問をすることができます。

個別相談（1on1）**無料**

課題ヒアリングのプロと1対1で、個別に面談が可能です。自社だけでは気づきにくい課題を一緒に洗い出したり、「検討中のツールは本当に自社に合っているか」などを地域の支援機関や専門家が助言します。



対象	経営者・後継者・現場の担当者
相談内容	課題の洗い出し、優先順位づけ、検討中のツールの妥当性など
形式	オンライン（会員登録後にサイトから予約）
担当	紀陽銀行の担当者など。必要に応じて専門家へ引き継ぎ



同じ会社の他の社員をユーザー登録するには？

ユーザーには「企業管理者」と「企業メンバー」の2種類の権限があります。同じ会社のメンバーを追加する場合は、企業管理者の権限を持つユーザーが行ってください。